

志 成

—中国の「後漢書」に由来する校訓—

「志があれば、なんでもできる！」

Shisei
志成

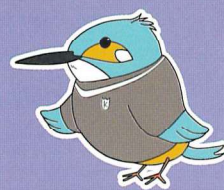
泥まみれでもいいじゃない—生懸命なんだから



contents

科学部が表彰された「ワラジムシの研究」って何？	2.3
荒人祭(体育祭・文化祭)、PTA模擬店キッチンカーが好評	4.5
PTA研修旅行「関西大学(千里山キャンパス)」	6
PTA近畿大会、全国大会に参加して	6
環境整備委員会報告「PTAで学びやすい環境づくりを」	7

聞いてみました！先生の今、ムカシ	8.9
大学をめぐる最近の動向について	10
令和5年度卒業生 大学合格者数	10
ホープツーリズム ふくしま学習	11
部活動：春季大会の記録	12
オーストラリア海外研修を終えて	12





丸まらないし…



似てるけど
ダンゴムシとは
違うのよね～

科学部が表彰された 「ワラジムシの研究」って何？

5月のPTA役員会議で今回のPTA通信の内容をどうするかと話していた時のこと。

「昨年は科学部が彦根城で採取したキノコの酵母から出来たクラフトビール“志成”を取り上げましたよね。今年も特集記事になるような話題はないですか？」

「ワラジムシを研究してる科学部の双子が気になるな～」

「ワラビモチ？ダンゴムシは聞いたことあるけど、ワラジムシってなに？」「私の息子、科学部で研究したいからって中学から河瀬への進学したんです。是非インタビューしてみたいです！」

こんな好奇心旺盛なPTA役員の会話から、その後の科学部の活動を追ってみることになった。



▲堀部侑正さん(左)、晃正さん(右)(高3)



ワラジムシを研究している兄弟とは双子の堀部侑正さん、晃正さんのこと。8月に岐阜県で行われた全国高等学校総合文化祭の自然科学部門でも滋賀県代表として、2人が舞台に立ち発表した。内進生として中学から科学部に在籍し、将来も研究者になりたいという夢を語ってくれた。



科学部と言えば酵母の研究のイメージがあったのだが、なぜワラジムシの研究をしているのか不思議だったので聞いてみたところ「ダニ→植物→ワラジムシと研究内容は変わりましたが、元々は先輩たちが長年取り組んでいた土壌の研究が土台になっているんですよ！」とのこと。

荒神山の土壌を採取した際にワラジムシに興味を持った4人が1年半に渡り研究をしてきた。ちなみに、酵母の研究も終わったわけではなく、下の学年に引き継がれている。そして同じように、ワラジムシの研究も後輩に引き継がれていく予定だという。

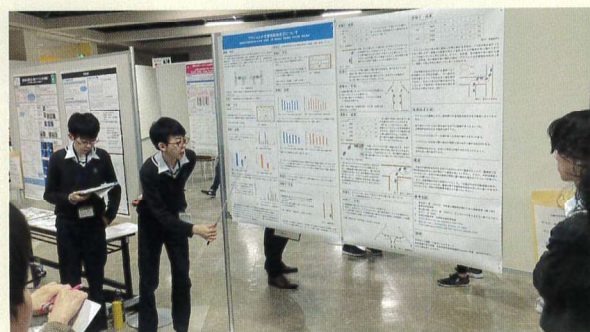
こうやって知識が蓄積され、ブラッシュアップされていくのが河瀬の科学部の力になっているのを感じた。

「ところでワラジムシの何を研究していたの？」という質問に手ぶりを交えながら教えてくれたのは外川大智さん。

ワラジムシが進むとき、障害物に当たり、左右どちらに曲がるかの反応を研究しようだ。研究タイトルは「ワラジムシの交替性転向反応について」である。



▲外川大智さん(高3)



▲近畿大会でのポスター発表

気になったので
突撃インタビュー
してきました！



▲学生科学賞県展 優秀賞
表彰式に行ってきました



触角を使っでの反応を迷路を作り観察している動画を見せてもらった。壁に当たって曲がるその動きを見て、「この研究ってお掃除ロボットも生かされている？」とそれらしい質問をしてみたが、あまり関係がなかった。続けて「こういう研究が勉強にも役立つこともあるの？」という質問にかえると、「自分で調べて解決したり、考える力は養えているので役立っている」という答えが聞けた。

大変さもあったと思うが、落ち着いた中に終始笑顔だったのは主体的にしっかりしたものを作り上げてきた自信に裏付けられたものだと感じた。

2-1. 現在飼育中のワラジムシ



▲飼育中のワラジムシの種類を
教えてもらっているところ。

このように資料をまとめるためのパソコンを使っでの活動時間も多らしい。

パソコンの使い方を中学生に教えたり、指導をして活動を助けたりするのも高校生の役割だという。

「僕たちも先輩にそうやって0から教えてもらったので」とのことだが、これがまさに中高一貫教育の醍醐味にも思えた。

科学部のアピールポイントとは聞くと村松滉友さん曰く「先輩・後輩の仲の良さ」とのこと。部員は、現在、中高あわせて53名。結構多いんだなと思ったが、「部員もっと増えたらいいですね。部員募集のメッセージないですか？」と聞いてみた。さらにアピールポイントを引き出そうとしてのことだが「部員が多すぎると、やらない人が出てきたり、個人が責任もたなくなるので・・・」という科学部らしい冷静な答えが返ってきた。



▲村松滉友さん(高3)



▲佳山先生

この学年を顧問として、ずっと支えてこられたのは佳山先生。インタビュー中も先生を訪ねてくる生徒が何人かいて、日常的に学びやすい環境をつくってくださっているのだと改めて感じた。



泥まみれでもいいじゃない 一生懸命なんだから

2024年6月7日

体育祭



2024年6月12日・13日

文化祭



Kitchen Car food shop

PTA
模擬店

今年も／文化祭キッチンカー大好評！



6月7日(金)に体育祭、6月12日(水)午後から13日(木)に文化祭が開催されました。

様々な競技や出し物に一致団結して取り組み、思い出に残る素晴らしい荒人祭となりました。

今年も役員を継続してお手伝いしてくださったお2人



▲生徒委員長 川口 純

今年もPTA生徒委員会で、からあげ、フランクフルト、ポテト、ソフトクリームのキッチンカーを出店しました。昨年、時間がかかったもちもちポテトの代わりに、暑い季節にピッタリのソフトクリームを導入。宮崎マンゴー味、生キャラメル味といった変わり種から順番に完売していきました。

10時スタートから終了の15時までに総勢22名の方にお手伝いいただき成功におわりました。

学校で美味しいものが食べられるということは子ども達の楽しみです。楽しんでお手伝いしてくださるPTA会員さんの姿がありたく、このような活動を来期にもぜひ引き継いでいけたらと良いなと思いました。

▲田淵校長もソフトクリームをお買い上げ

そして小南高校教頭も！



関西大学

6月27日(木) PTA研修旅行で関西大学(千里山キャンパス)へ



▲学校発と守山駅発のバス2台総勢54名が参加

今回は前年アンケートで要望が多かった関西大学に行って参りました。学校発と守山駅発のバス2台で総勢54名の参加となりました。関西エリアで志願したい大学16年連続1位になっているようで私が通っていた約30年前にはなかった建物が多くあり時代の流れを感じました。

モニターが数台設置された広い教室では、来年新設されるビジネスデータサイエンス学部や、企業や行政の危機管理に貢献できる人材を育てる学部など特色を聞きました。その後、4班に別れ、4人の学生ガイドに説明を受けながら広いキャンパスを歩き適度に疲れました。

キャンパスを離れた後は大阪新阪急ホテル(オリンピック)でバイキングの楽しさと美味しさに疲れをいやしつつPTA会員同士の親睦を深めました。次年度は同志社大学予定です。よい体験になると思うので、まだの方は一度ご検討してみたいかがでしょう。

(小林佳弘)



▲2Fは約1000席ある食堂



▲4人の学生ガイドに案内してもらいました



▲教室にて案内をうけました

第49回 7月15日

近畿地区高等学校PTA連合会大会 京都大会に参加してきました



前年の滋賀大会の「みんなで考えよう!『PTAのこれから』」の流れをうけ、京都大会は「不易流行～変えてはいけないこと、変わらなくていけないこと～」をテーマに開催されPTAの抱える課題に対し単P(各学校単位のPTA)での取り組みが紹介されました。変えてはならないことは「子どもたちに愛情を注ぎ見守り一生懸命育むことであり、これからの社会を担う若い世代を信じ、可能性を広げること」と締めくくられました。

このメッセージを象徴するのがピアニスト辻井伸之のお母さんの「子どもの才能の見つけ方、伸ばし方」とい記念講演でした。

目が見えないというハンディキャップ中、伸之さんにかけてられた愛情や世界を驚愕させた演奏をVTRを挟みながら話されとても感動しました。

(小林佳弘)

8月22-23日

PTA全国大会(茨城県水戸市)報告

歴史の町で変革を!!

～新たな時代が目に入らぬか～



学校が抱える多様化している問題解決には三位一体(生徒、学校、保護者)での取り組みが必要です。その中心であるPTAのあり方を今一度考え、新たなPTAを模索していこうとする2日間になりました。第72代横綱の稀勢の里氏による基調講演「人材育成の不易流行」では、200年以上の歴史を持つ相撲界の常識に変革を加えながら、伝統を継承していく活動をご紹介いただきました。変革をするのは技術や環境、継承をするのは基礎や人間力であり、これは相撲界だけではないと感じました。また「選択肢を正した瞬間に未来が変わる」という稀勢の里氏の言葉は、これからのPTA活動に良い導きとなりそうです。

昭和・平成からの大きな変化に学校も保護者もついていけない部分もあり、子どもたちには申し訳ない面が多々ありますが、本校PTA活動はコロナ禍以降、時代の変化に諦めることなく柔軟に対応しています。子どもにできることは何か、子どもが求めているものは何か、親に必要な知識は何か、子どもから学ぶこともたくさんあります。高校3年間を子どもと一緒に考え、ともに過ごすこともまた昭和と令和の違いかなと感じています。

(本田真司)

PTAで学びやすい環境づくりを

その
01

環境整備作業

今年度は8月24日(土)に、校内校外の清掃、除草作業を行いました。

朝早くから暑い中で作業となりましたが、先生方をはじめたくさんの生徒、保護者の方々の協力を頂くことができ、無事に作業を終えることができました。ありがとうございました。



その
02

安全点検

河瀬駅から学校までの通学路、学校周辺の安全点検を行いました。また、環境整備作業中に見つけた危険なもの(鉄の棒や錆びたカッターの刃)を回収しました。



▲銀行前の交差点では、対向車から歩行者が見えにくく危ないので、渡るときは安全を確認しましょう。



▲新店舗ができ、今までなかった車両の出入りが頻繁にある。前後に気を付けて歩きましょう。



▲校門を出るときは通行者や自転車に気を付けましょう。



▲こちらでの作業中に蜂がたくさん出ました。近くに巣がないか確認してもらうことになりました。

その
03

校内点検

毎年、滋賀県に改善要望を提出するために、校内点検をしています。今回の点検で以下の改善点がみつかりました。

- 教室の引き戸が異常に重いところが多い。自分の教室だけでなく移動の教室もあるので、たくさんありすぎてここを直してほしいと限定できない。
- 教室の椅子と机のささくれが多く、トゲが刺さったことが何回もある。
- 学校前だけでも歩道の反射板を多くつけてほしい。
- プールの周りに防草シートを敷いてはどうか？環境整備作業のときプール周りだけで2台草刈り機で作業してくれたが、防草シートがあれば、プール周りではないところに作業にまわれると思う。

環境整備作業を終えて

参加して下さった皆さんの熱心な様子や表情を見て、皆さんが学校を大切に思っていることが伝わりました。子どもたちの大切な学びの場を、皆で協力して整える活動は毎回大切にしたいと思いました。ありがとうございました。

環境整備委員長 澤口理恵



募集

軽微なものについてはPTAで対応することも検討しています。建具関係、電気関係、エクステリア関係のお仕事をされている保護者の方がおられましたら、学校に連絡を頂きたいです。よろしくお願いします。

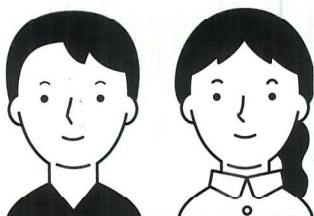


今、ムカシ

part 1

質問 ② 今ハマっている、こと・ものは？

質問 ① 中高生の頃に熱中していたことは？



中1



1 学年主任
ふじた なおき
藤田 直樹

- ◎国語
- ◎軟式野球 (中)
- ①部活 (野球)
- ②オンライン麻雀

中1



1-2 担任
まつい だいすけ
松井 大輔

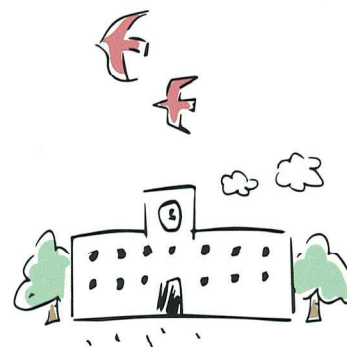
- ◎英語
- ◎男子バドミントン (高)
- ①ONE PIECE (マンガ)
- ②娘、息子と遊ぶ

中1



1-1 担任
おおくぼ ほのか
大久保 穂香

- ◎保健体育
- ◎女子バレーボール
- ①部活 (バレーボール)
- ②ドラマ鑑賞



高1



1 学年主任
むらせ まこと
村瀬 誠

- ◎英語
- ◎ESS / サッカー
- ①The Beatlesの曲
- ②Nicholas Sparksの英文小説

高1



1-3 担任
やまもと ゆうみ
山本 優実

- ◎国語
- ◎剣道
- ①部活 (弓道)
- ②ネットショッピング

高1



1-1 担任
ふじい りな
藤井 里奈

- ◎数学
- ◎女子卓球 (高)
- ①陸上 (長距離走)・数学
- ②スリザリング

高1



1-4 担任
きたむら かずき
北村 和輝

- ◎地歴公民
- ◎卓球 (中)
- ①卓球
- ②卓球、ランニング

高1



1-2 担任
なんぶ じゅり
南部 珠璃

- ◎保健体育
- ◎陸上
- ①部活動 (陸上競技部)
- ②姪っ子と遊ぶこと

高1



1-5 担任
たかだ ひろなり
高田 成平

- ◎英語
- ◎陸上
- ①Bz
- ②スペイン語学習



中2



2学年主任
たけすえ ちはる
竹末千春

- ◎家庭
- ◎科学／陸上
- ①部活動
- ②読書

中2



2-2担任
ふくなが さちこ
福永幸子

- ◎数学
- ◎女子バスケ(中)
- ①さだまさしとサザンとユーミン
- ②米粉を使ったお菓子作りと、スパイスカレー

中3



3学年主任
いけだ しょうじろう
池田匠二郎

- ◎英語
- ◎ソフトテニス
- ①時間があれば洋楽を聴いていました。
- ②カルピス(家でつくるやつ)

中3



3-2担任
たぐち しょうへい
田口翔平

- ◎数学
- ◎女子ハンドボール(高)
- ①部活(ハンドボール)、ドラクエ(ゲーム)
- ②中華料理、エクセル



中2



2-1担任
おがわ ひろゆき
小川浩幸

- ◎理科
- ◎剣道
- ①部活(剣道)とゲーム
- ②岩盤浴と温泉

中3



3-1担任
くずかわ せいと
葛川星斗

- ◎数学
- ◎女子バドミントン(高)
- ①部活動(ソフトテニス)
- ②カレー作り



高2



2学年主任
こかぶ ひろし
古株洋

- ◎理科／情報
- ◎吹奏楽
- ①毎日、部活動(吹奏楽)をするために学校に行っていました。
- ②大相撲観戦と脳トレ

高2



2-3担任
ささき たかひろ
佐々木高広

- ◎地歴公民
- ◎写真、放送
- ①X-JAPAN
- ②筋トレ、森高千里♡、息子のパジャマのにおいをかく♡

高3



3学年主任
よしだ ゆたか
吉田裕

- ◎地歴公民
- ◎剣道
- ①インベーダーゲーム(中3～高1)映画鑑賞(高2～3)
- ②守山の古道探訪

高3



3-3担任
とみおか りえ
富岡理恵

- ◎音楽
- ◎吹奏楽
- ①ピアノとテニス
- ②美味しいお店探し

高2



2-1担任
みくぼ まき
三久保真希

- ◎国語
- ◎女子バレーボール
- ①部活動(バレーボール)
- ②(最近行けてませんが...)神社仏閣巡り、仏像鑑賞

高2



2-4担任
やまたに ゆうすけ
山谷優友

- ◎地歴公民
- ◎写真
- ①アナウンサーのマネをすること。
- ②YouTubeで卵焼きの作り方動画を見ること。

高3



3-1担任
さいうち ひでき
齊内秀記

- ◎理科
- ◎男子ハンドボール
- ①PlayStationなどの家庭用ゲーム、ライトノベル、ミステリー小説
- ②ものづくり(電子工作、木工、プログラミング等ジャンル問わず)

高3



3-4担任
うへだ みほこ
上田美穂子

- ◎英語
- ◎女子バドミントン
- ①ラジオの深夜放送
- ②発酵食作り

高2



2-2担任
すぎさわ ゆうま
杉浦悠真

- ◎英語
- ◎ESS
- ①部活動(サッカー)
- ②洋画鑑賞、旅行

高2



2-5担任
いとう まいこ
伊藤麻衣子

- ◎数学
- ◎卓球(中)
- ①読書
- ②ドライブ

高3



3-2担任
くぼた ひでかず
久保田秀和

- ◎数学
- ◎硬式野球(高)
- ①魚釣り(鮎)
- ②安全・安心・新鮮な野菜作り

高3



3-5担任
はらだ ひろし
原田裕

- ◎国語
- ◎硬式野球(高)
- ①部活動(硬式野球部)
- ②ジョギング





大学入試をめぐる最近の動向について

進路指導主任 田中博之

大学入試全般の傾向としては、「コロナ禍」を契機に大きく様変わりし、従来の一般選抜を中心とした入試から、いわゆる「年内入試」を中心とした入試に変わりつつあります。このうち特に近年、注目を集めて志願者が急増しているのは総合型選抜ですが、他の入試と異なり、学力だけでなく、スポーツ/文化/ボランティアなど、受験者の様々な活動の成果をもとに審査をし、面接やプレゼンなどを課するのが特徴です。ただ、注意点としては「専願」が原則ですので第一希望校の受験が前提となります。また、他の入試のような学力試験がないために、学力の劣る学生が入学してしまうことも懸念されています。このため文科省では、総合型選抜の入試で共通テストの受験を課すように指導しており、国公立大学の総合型選抜では共通テストの得点も含めて選考する大学が増えていますが、一方で滋賀大教育学部のように8年度入試から総合型選抜の廃止に踏み切った大学もあります。なお、総合型は出願の時期が非常に早く(9月以降)、面接などの対策・準備にもかなりの時間を費やすことになります。このため、安易な気持ちで総合型に出願することがないようにご注意くださいと思います。

また、私立大学の傾向としては、一般選抜の定員を大幅に減らして年内入試を中心とする大学が増加しています。入学定員を確保するために、前倒しで入試を実施する大学が増えているのが現状です。しかし、その一方で、「関関同立」を中心とする難関大学は現在でも一般選抜入試が中心で、公募推薦入試は、ほとんど実施していません。つまり、難関私大と、その他の大学の格差が大きく開いてきているというのが最近の私大入試の傾向といえます。河瀬高校でも、コロナ禍以降公募推薦の受験を希望する生徒がかなり増加してきましたが、受験の際に、公募推薦合格で入試を終えてはいけなく、一般選抜が入試の本番である(一般選抜で、より上位の大学を目指してチャレンジするべきである)という指導をしています。私大入試なら3月入試まで、国公立は後期日程まで諦めずに受験をして欲しいと考えております。もちろん、お子様が、年内入試で「第一志望校」に無事合格されたのであれば受験は終了ということになるかと思いますが、年内に「第一志望校」の合格通知をもらえなかった場合は、2月、3月までチャレンジを続けるようにお子様にご指導をお願いいたします。

令和5年度卒業生 大学合格者数

分類	大学名	合格者数
国立4大	筑波大学	1
	山梨大学	1
	富山大学	1
	静岡大学	1
	名古屋工業大学	1
	滋賀大学	4
	滋賀医科大学	1
	京都工芸繊維大学	1
	大阪教育大学	1
	鳥取大学	1
	宮崎大学	1
国立大学 計		14
公立大学	長野大学	1
	滋賀県立大学	11
	大阪公立大学	1
	奈良県立大学	1
公立大学 計		14

分類	大学名	合格者数
私立4大	早稲田大学	1
	東海大学	5
	大谷大学	40
	京都外国語大学	9
	京都産業大学	21
	京都女子大学	14
	京都橘大学	79
	京都光華女子大学	2
	京都薬科大学	3
	京都ノートルダム女子大学	2
	同志社大学	5
	同志社女子大学	8
	佛教大学	51
	立命館大学	28
	龍谷大学	53
	追手門学院大学	14
	大阪経済大学	2
	大阪医科薬科大学	2
	関西外国語大学	11
	近畿大学	7
	その他	78
私立大学 計		435
大学校	航空保安大学校	1
	防衛大学校	1
文部科学省所管外の大学校 計		2

ホープツーリズム ふくしま学習

8月下旬に「ふくしま学習」を実施しました。今年度は希望生徒13名が東日本大震災からの復興にむけての歩みを現地で学びました。

現地ではフィールドパートナーである菅野孝明氏とともに、双葉町・浪江町のフィールドワーク、相馬市震災プログラム、地元企業への訪問、福島県立ふたば未来学園の生徒との交流等を行いました。また今年は、1日目の夕食後に松川浦にてナイトフィッシュキャッチというアクティビティにも参加しました。旅館やホテルに戻ってからは、生徒同士でワークショップを行い、さらに学びを深めました。

他人事だと思っていたことが、学びを重ねていくうちに自分事になっていき、帰る頃には一人一人に「自分には何ができるか」ということを真剣に考える姿が見られ、今後は伝える側として、各自が取り組むことを期待しています。



▲相馬市 備蓄倉庫



▲松川浦ナイトフィッシュキャッチ



▲ふたば未来学園の生徒と交流

部活動：春季大会の記録

高校 運動部 (ベスト8以上)

◇陸上

女子走り幅跳 8位

◇剣道

女子団体ベスト8 近畿大会出場

高校 文化部

◇放送部

第71回NHK杯
全国高校放送コンテスト滋賀県大会
朗読部門出場

◇書道部

第16回滋賀読売競書大会
栗東市長賞

◇写真部

第48回全国高等学校
総合文化祭出場

中学 運動部 (ベスト8以上)

◇陸上部

第61回滋賀県中学春季体育大会
女子2・3年800m 1位
男子共通400m 5位
女子共通四種競技7位

中学 文化部

◇書道部

第59回 滋賀県硬筆作品展覧会
滋賀県書教育研究会長賞

オーストラリア 海外研修 を終えて

英語科 池田 匠二郎

夏休み中に実施された「オーストラリア海外語学研修」に今回引率教員として同行させていただきました。滞在時のオーストラリア・ケアンズの気温は20度を少し越える程度。日本の暑さにめまいを起こしながら毎日を過ごしていた私にとって、オーストラリアの気候は夢のようでした。

生徒達が学んだSmithfield高校は、ケアンズ郊外の閑静な場所にあり、自然も豊かで敷地も広く、現地の生徒達もとてもフレンドリーで、生徒達が安心して学習できる環境がそろっていると感じました。

学校では生徒一人一人に「バディー」と呼ばれる現地生徒が1人つき、授業や昼食などの学校生活での行動を共にしました。今回参加した河瀬の生徒達にとって、このバディーと過ごした日々が、この研修での一番心に残ったことになった人は多かったのではないのでしょうか。

バディー達は毎朝、自分の担当する河瀬の生徒を見つけると、嬉しそうな笑顔で挨拶し、放課後別れる時もハイタッ

チやハグをするなど、本校の生徒を本当に大切な友人として接してくれていました。彼らが本校の生徒達のそばにいつもいてくれ、親切にしてくれたからこそ、河瀬の生徒達も緊張が取れていき、次第に「どんなことでも(英語で)話してみよう」と積極的な気持ちになったのだと思います。わずか9日間の日程ではありましたが、最終日の別れの日にはバディーと一緒に何枚も写真を撮ったり、時には涙を流しながら別れを惜しむ場面も見られました。

今回の研修は「語学研修」という名前がついていますが、生徒達は今回の研修を通じて、語学を学ぶことの先にある素晴らしさ(=色んな人と心のつながりを持つことが出来る)を身をもって感じたのではないのでしょうか。語学を学ぶに当たって、単語や文法などを学ぶのは大事ですが、もしかしたらそれよりも大切なこと、それを今回の語学研修で彼らは学んだのではないかと思います。



▲登校最終日の集合写真

▲お別れパーティーにて